

# 情報かわら版



川崎市立小学校情報教育研究会  
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)  
平成 29 年 5 月 第 1 号  
担当 橘小学校 佐藤 謙

情報研おすすめイベントはこちらの QR コードからぜひ！

## 「川崎市立小学校情報教育研究会総会」を開催しました



【左】平成 29 年度会長  
岩田昭彦先生(宿河原小学校校長)



【右上】藤沢俊太先生



【右下】平野智久先生

平成 29 年 5 月 10 日(水)、川崎市立宿河原小学校にて、川崎市立小学校情報教育研究会総会を開催しました。本年度も多くの会員の皆さんを迎え、大盛況の中、開会されました。

情報・視聴覚センターより椎名指導主事、草柳指導主事にお越しいただき、「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づいて、教育の情報化を推進していくことの重要性についてご助言いただきました。

研究会からは藤沢研究部長より、今年度の研究の方針が伝えられました。今年度も「子どもたちにどんな力をつけさせたいか」を念頭に置き、子どもたちの姿で考えていく研究を推進していきます。7 月 5 日(水)には、第一回の授業研究会が三田小学校で行われます。授業者は、平野智久先生です。多数のご参加をお待ちしています。

また、総会の資料にも添付させていただきましたが、今年度も情報・視聴覚センターとの夏の共催研修やビデオ映像創作展、読書感想文審査会など「おすすめイベント」が多数ありますので、ぜひご参加ください。

## 講演「プログラミング教育」

上野 朝大 先生(株式会社 CA Tech Kids 代表取締役社長)

第 2 部として、「プログラミング教育」について上野先生よりご講演いただきました。上野先生は、小学生向けのプログラミング教育事業を手掛け、その普及と促進をされています。2020 年の本格導入に向けて、私たちが取り組むべき「プログラミング教育」のこれからについてご示唆いただきました。

まず始めに、世界で広がるプログラミング教育の背景についてお話しをいただきました。そもそもプログラミングとは、「人間が意図した処理を行うようにコンピューターに指示を出すこと」とであると定義されています。これは日頃私たちの生活の中で見つけることができるようです。あらゆる場面でプログラミングがされているものがあるので、子どもたちと学ぶ際には、そのような切り口から考えてもよいのではないかとご助言いただきました。

また、第四次産業革命という技術の飛躍的な進歩により社会がより便利になる新しい時代が今後到来すると予想されています。人口知能(AI)が社会の中で当たり前のように活躍する時代です。ご講演の中では、実際に人工知能により動いているロボットなどの映像もご紹介いただき、会場全体が引き込まれました。

このような社会状況を鑑み、次期学習指導要領の中でのプログラミング教育の位置づけについてお話しをいただきました。情報活用能力を身につけさせるために、教科の学びを損なわないような“かけ算の考え”をしてみるとよいのではないかとアドバイスをいただきました。

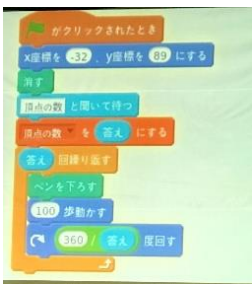
後半は、三田小学校の石橋純一郎先生との対話形式で進行されました。石橋先生からの「実際の学校現場でプログラミング教育をどのような場面で扱えばよいか。」という質問に上野先生は、「まずは慣れ親しんでみるのが大切」とお答えいただきました。Scratch などのプログラミングソフトを中学年の児童がさわってみて、慣れ親しみ、高学年になって「もしかしたらこの場面で使えるのでは？」と子どもたちが考えるようになるのではないかと付け加えていただきました。プログラミングされたものの裏の仕組みなどに興味をもち、子どもたちが主体的に作り上げていくことが大切だとのことでした。

最後に石橋先生の「子どもたちの成長や変容について」の質問に、何事にも試行錯誤するようになったり、IT に興味や関心をもち IT を活用したりする意識をもちたりする子が増えてきたと答えていただきました。

学習指導要領改訂を控え、今から計画や準備しておくことの大切さや、日常生活の中でもプログラミング的な思考を念頭においた学習指導をしておくことの重要性について学ぶことができました。



上野朝大 先生



石橋先生作成のプログラム

情報・図書主任会  
6 月 21 日(水)  
15:30~  
稲田小学校にて

情報主任会では、各区の情報主任が集まり、ICT 活用や備品購入、放送委員会の活動などについて情報共有を行います。図書主任会では、児童が自分の体験と重ね合わせた読みについての読書活動についての実践報告や読書感想文についてお知らせを行います。情報主任、図書主任の皆さまよろしくお祈りします。

